

# 土木型・投資的経費型

## 財政からの返還を！

**答** 今、教育施設の充実を図っている

青山 当町は経常収支比率が80%前半であり、まだゆとりがある。他町村は90%を超えて福祉分野に力を入れている。現在の土木型・投資的経費型財政から、多くの町民が望む環境・福祉・教育型財政を主流とする老人ホーム建設等を進めるなどに関してどう思われるのか伺う。

町長 環境福祉教育について、町は他市町村に自負できるぐらいにお金を使っています。ハード・ソフト両面にわたってさまざまな教育施設の充実を図っています。特別養護老人ホームの建設については早期実現できるようにします。住民のために各事業をバランスよく取り組んでまいります。



矢吹小学校（環境教育）

## 縮減する交付税！ 交付税措置は財源保障か？

**答** 有利な財政措置事業の確保に努める

青山 地方交付税は財源保障の主たる要素。年々減額され、平成28年度からはトップランナー方式という成果主義が導入され、さらに縮減される傾向にある。交付税措置されても総額でもらえる交付税額が減れば、財源保障の効果は薄れていくのではないのか。

町長 交付税措置と財政との関係およびその実態についてですが、国の方針に基づく重点的な事業等については、より有利な財政措置として、追加やかさ上げの対象となりません。まちづくりを進めるにあたり、これら財政措置のある事業の中から、規模や内容を勘案し、より有利な財政措置が見込まれる事業を選択することは、将来の負担を軽減するとともに、健全な財政運営のために必要なこと

であると考えています。

その他の質問事項  
・新町西線道路の新設について

※トップランナー方式とは  
国の行財政改革の一つで歳出の効率化の推進を図る。

民間委託により、町の公共施設の維持管理負担を減らすことで、地方交付税算定のポイントが上がります。町の経常費の縮減が計られる。

※交付税措置とは  
それぞれの事業で生まれる町債（借金）に対しての国からの財源措置。  
地方交付税の中にも含まれて、町の歳入になっている。



あおやま ひでき  
青山 英樹 議員

町政を問う（一般質問）